



YOU ARE THE KEY

あなたが鍵です



会長 佐藤順治 幹事 秋野 忠 クラブ奉仕 吉野 勲 職業奉仕 板垣広志 社会奉仕 小池繁治 国際奉仕 高橋良士 青少年奉仕 丹下誠四郎

出席報告：会員 73 名 出席 58 名 出席率 79.45 % 前回出席率 72.60 % 修正出席 63 名 確定出席率 86.30 %

ゲストスピーチ

ジュリーのニッポン鶴岡印象記

ジュリー・エリザベス・マックレー さん

(バミューダからの交換学生)



日本ニクル前、日本ハヨクワカリマセンデシタ。ミンナハ眼鏡ヲカケテイルシ、ミンナハカメラヲ持ッテイルト思イマシタ。

ハジメ日本ニキタ時ニ、タクサンノ事ヲ珍ラシト思イマシタ。タトエバ、玄

関チ靴ヲヌグコトヲイツモ忘レマシタ。西洋ノ家トクラベルト、日本ノ家ハ小サイデス。ソファハナイノデ、タタミトザブトンニ座リマシタ。タビタビ私ノ足ハシビレガキレタ。オフトンハ気持ヨイデス。ヨク眠リマス。箸ヲツカウノハ楽シイデス。日本ノタバモノハオイシイト思イマス。サシミ、カレーライストラーメン大好キデス。納豆ハダメデス。

バミューダト鶴岡ノ天気ハズイブン違イマス。夏ハスゴク暑カッタデシタ。秋ハ紅葉ガトテモキレイダッタガ、去年ハ雨ガヨク降ッテ紅葉ヲ楽シメナクテ全然デシタ。冬ニハ雪ヲ初メテ見マシタ。スゴイト思イマシタ！ 雪ダルマヲツクリマシタシ、友ダチト一緒ニ雪合戦ヲシマシタ。雪ハキレイデスガ、寒イデス。ソレデ春ガ早くキテホシイト思イマス。桜ヲ見ルノヲ楽シミニシテイマス。

鶴岡ハ小サイデス。ケレド、タクサン歴史的ナモ

ノヤ文化財ヤ催シ物ガアリマス。致道博物館ハ面白イデス。昔、公園ニサムライノオ城ガアリマシタ。ソレハ魅力的ト思イマス。羽黒山ヘ行キマシタ。楽シカッタケド、英語ノパンフレッドガアリマセンデシタ。有名ナトコロデ外人モ行クトコロデショウカラ、英語ノ準備ヲシテホシイト思イマス。

一度マリア教会ノ神父サンガコウ云ッタ。「鶴岡ハ古イ日本デ、東京ハ新シイ日本」ソノ考エハイイト思イマス。鶴岡ジンハスゴク優シイデス。鶴岡デタバビ着物ヲキタオバアサンヲ見カケマシタ。イクニンカハ道路デ私ニ話シカケヨウトシテキマシタ。私ガジョウズニ話セナクテモ、シンボウ強クツキアッテクレマス。イツモ子供ハ私ヲ見ルト、「アッ！ ガイジンダ！」ト云ウ。ソレデ私モ彼ラニ、「アッ！ ニホンジンダ！」ト答エル。

学校デタクサン友ダチガイマス。日本ノ学生ハトテモマジメダト思イマス。デモモウスコシ楽シムトコロガアッタハウガイイト思イマス。タトエバ、卒業式ノアト、ダンスヲシテ楽シムトカ、ソノタメニオ金ヲアルバイトデ稼グトカ、ナドナド。

学校ノコトヲ云エバ、日本語ハトテモムズカシイト思イマス。文法ハズトブンチガイマス。タクサンテイネイ語ガアリマス。タトエバ、英語ノコトバ“to give”ハ日本語デハ“やる”マタハ“くれる”

あなたが鍵です — 会員増強にご協力を!

庄内空港の建設を推進しましょう

マタハ“さしあげる”ト云ウヨウニ、タクサン相手ニヨッテチガイマス。漢字モスゴクムズカシイデス。私ハスコシダケ読メマス。

私ハ旅行大好キデス。バミューダノ友ダチガ、私ニ京都ト奈良ノ案内ヲシテクレマシタ。日本ノ文化ハ興味ガアリマス。ソレデトモ楽シカッタ。冬休ミノトキニ鈴木サンタチト一緒ニ東京ヘ行キマシタ。

東京ハ大好キデス。イツモニギヤカデ、タクサン面白イトコロガアリマス。

今、マイ金ヨウ日、生花ヲナラウシ、土ヨウ日ニオ茶ヲナラッテイマス。トテモ面白イデス。

日本ニ来タノハヨカッタデス。コレバ素晴ラシイ経験デス。

ドウモ有難ウゴザイマシタ。

会員スピーチ

トーキング'86 “若さでみつける世界の心” 報告

若 生 恒 吉 君

日 時 昭和61年2月9日

場 所 寒河江プラザホテル

主 催 寒河江R.C.

後 援 R.I. 第253地区青少年交換小委員会

☑ 趣 旨

253地区内に来ていたる米国、豪州、フィリピン、バミューダの交換学生10人に集ってもらい、寒河江周辺の高校生180人と一緒に国際交流のあり方、若者としての共通点、習慣、考え方などの相違点について素直に話し合ってもらおう。

☑ 第1分科会 「若者達の生活—日本と海外」

アドバイザー 田中寒河江高校先生

司 会 者 渋谷一郎寒河江R.C.

パネラー アメリカの学生 3人

オーストラリアの学生 3人

☑ 第2分科会 「国際交流をすすめるために」

アドバイザー 山口山形大学先生

司 会 者 逸見寒河江高校先生

パネラー アメリカの学生 1人

バミューダ(ジュリー) 1人

フィリピン 1人

オーストラリア 2人

他に今回オーストラリアに派遣学生5人も参加。

ジュリーが第2分科会に出席している関係で、

第2分科会で提起された一部を報告します。

☑ 留学生より

○外人と云われたくない。日本にいと見せ物

になっているような気になる。

○日本の学生には個性がなく、親や先生、社会に頼り過ぎているし、又親ばなれ、子ばなれがしていない。

○制服だけなので、外から見ると黒一色なので葬式みたいである。(アメリカの学生)

○但し、バミューダ、フィリピン、オーストラリアには制服はある。

○日本に来る時には日本の情報がほとんどなく、何の予備知識もなかったの、もっと日本の現状を外国に伝えた方が良く云っていた。

☑ 日本の学生より

○国際交流の障害になっている一番の原因は、言葉が日本語だけなので、色々な所で英会話の出来る機会を多くしたい。

○日本の学校はあまり型にはまり過ぎて個性がだせない。

○制服は安上りだから大変よい。

☑ 日本の学生のアンケートより

設問6 どうすれば国際理解が進むと貴方は考えますか。

○海外の情報をTV等で流す 27%

○交換学生を増やす 15%

○海外旅行を奨励する 14%

設問7 どうして日本人は国際性がないか、原因は?

○日本は島国だから 30%

- 無関心な人が多い 26%
- 国際理解の教育をしていないから 15%

設問10 貴方はロータリークラブを知っていますか。

- 名前は知っている 55%
- よく知らない 20%
- 全然聞いたこともない 14%
- 良く知っている 6%

スキー旅行のこと

津田 晋介 君

持ち時間が少ないので、スキーのエピソードを2つばかり。

- ※ スキー場ではリフトに乗る。1人乗りはつまらぬが、2人乗りは知らぬ者と一緒になれて楽しい。体育大学の男の学生と一緒にになったことがあった。「おじさん、いくつになるのですか?」「もう還暦だよ」「聞いたことばだが、何才のことですか?」私は、こいつ、還暦も知らんのかと、若者に対して優位に立つ思いだった。すると彼は「おじさんの年になるまで、ぼくはあと40年スキーがやれるんだなあ」と云う。私はギャフンとした。(ああ、この学生は20才か。俺の20才は鉄砲かっついで、好きなことが出来ぬひどい生活だった。こんなに楽しいスキーで青春を楽しんでいる。それに較べて俺は、わが青春あやまてり)

過ぎし私の青春は戻らない。しかし、戻ったような気持ちで、これからも彼に負けないように、ウィンター・スポーツに励もうと思う。

- ※ 天元台スキー場で、若者のグループと相宿をしたときのこと。聞けば学生だという。学校が休みでもない季節にスキーに来ているのをなじってやりたい気になった。

「学生時代は王様ですよ。就職すれば独身のうちは貴族、でも結婚してしまえば平民になり、子供が出来るともはや奴隷ですよ」と一人が云う。若者は若者なりに考えている。(就職してしまえば、こうしてスキーを楽しむことは出来なくなる。今のうちに大いに滑って、社会に出ていく心の準備をしているのだなあ)と、私は感心した。

会長報告

佐藤 順治 君

1. 田中錦造さんの所属委員会を会報委員会にお願い致します。
2. 訪台の日程が決定致しましたので、なるべく多数で参加願います。
3. 鶴岡西R.C.創立20周年記念式典(4月25日)になるべく多数で参加願います。
べ切は3月20日迄です。
4. 鈴木正昭さんはこの度、新潟ダイエーに栄転致します。

幹事報告

秋野 忠君

- 鹿兒島R.C.より会報到着

親睦活動委員会

佐藤 昇君

親睦マージャン大会(2月26日)の成績

- 優勝 佐藤 衛君
- 準優勝 中沢 潔君(西R.C.)
- 一位 松田 士郎君
- 二位 板垣 広志君
- 三位 新穂光一郎君

会員誕生(3月生)

- 飯野 準治君 . 小松 廣穂君
- 加藤 和一君 . 中野 清吾君
- 佐藤 昇君 . 佐藤 忠君
- 鈴木 茂男君 . 手塚 林治君
- 若生 恒吉君 . 山川 久喜君

奥様誕生（3月生）

早坂保江様・石川徳江様
板垣地永子様・嶺岸豊子様
松田照子様・皆川直子様
佐藤晴子様・高橋多恵子様
高田紀子様

出席委員会

○年間皆出席

13年間皆出席 板垣俊次君
10 迎田稔君
8 川村徳男君
1 飯野準治君

○2月100%出席 50名

秋野・阿蘇・阿部・張・藤川・早坂・布施・飯
白・石井・石川・石黒・板垣(俊)・市川・飯野・
川村・小池・小松・皆川・塚原・忠鉢・三井(賢)・
三井(健)・嶺岸・迎田・諸橋・松田(貞)・松田
(士)・中江・斎藤(隆)・佐藤(忠)・佐藤(順)・
佐藤(衛)・佐藤(友)・新穂・菅原・鈴木(善)・
鈴木(弥)・佐藤(隆)・庄司・碓氷・佐々木・斎
藤(昭)・白坂・高橋・丹下・富樫・山川・若生・
山口・吉野

雑誌委員会

齋藤 昭君

毎月発行の雑誌「ロータリーの友」3月号の内容
紹介

3月スピーチ予定

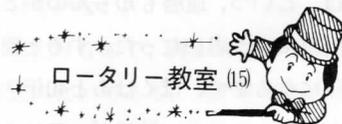
- 3月11日 成熟市場で躍進する4輪駆動車
布施隆夫 会員
- 3月18日 始動する庄内空港
庄内空港対策室 加藤幸七氏
- 3月25日 世界の農業と日本（スライド）
山大教授 土屋功位氏

スマイル

- 丹下誠四郎君 バーターンダー協会庄内支部長に
再任。
- 小池繁治君 末娘が高校卒業。
- 佐藤衛君 親睦マーシャン大会に優勝。
- 松田士郎君 同じく1位。
- 碓氷節男君 荘内日報に有望企業と紹介。

ビジター

- 鶴岡西R.C. 井上 彬君
- 山形西R.C. 寺島 愛君
- 山形南R.C. 茨木隆夫君



(情報抄録より抜萃)

手をさし伸べなければならない人

社会奉仕は、私達のクラブの最高の広報と言えま
す。入念に企画された奉仕プロジェクトは必ず所期
の目的以上のものを達成します。なぜなら、プロジ
ェクトは、地域社会の若い人にロータリーの重要さ
を広報するからです。この若い人達は、いつか私達
のクラブに参加するよう要請されるかもしれません。
私達が奉仕し続けるためには、若い人に手をさし伸
べなければなりません。さらに、プロジェクトを完
了するたびに、プロジェクトは、私達が何を成し遂
げ、何をしていないかを示す目安となります。

青少年と協力

青少年と緊密に協力すると、地域社会の将来の繁
栄が保証されますが、それだけではありません。青
少年を明日の市民指導者として訓練すると、青少年
もまた、私達が今日の地域社会の意向を診断するの
に協力してくれます。